

講義名	中国文化研究		
担当教員	市成 直子		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 5時限	授業形態	講義
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要 中国小説史 - 中国小説の世界 - 中国小説の歴史(古代-近代まで)をたどりながら、その起源から変遷と発展を知り、多種多様な作品が存在することを理解する。作品中に垣間見える中国の文化に触れる。

到達目標 『三国志』や『西遊記』だけでなく、中国小説・物語と呼ばれるものには様々な内容、ジャンルの作品があり、それが現代にも息づいている状況を理解することが出来る。
--

提出課題 随時、授業時に授業内容に基づく提出課題を提示する。各自小レポートを作成し、ポータルサイトに提出する。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック 学生諸君が提出した小レポートの内容に基づき、授業時に適宜既習の講義内容を確認する。講義内容について各自が理解度を測る。

評価の基準 小レポート：60% 授業への積極的参加度：40%
--

履修にあたっての注意・助言他 毎回の授業内容を理解できていなければ、授業内容に即した小レポートは作成できない。インターネット等での表面的な検索結果を使用してレポートを作成し、提出することは認められない。採点対象外とする。
--

教科書 ・使用しない。					

プリント資料及び参考文献 必要に応じて授業時に資料を提示する。

授業計画 第1回 授業について 中国における「小説」という言葉について 第2回 「神話」における物語性 第3回 「思想書」の物語 第4回 「歴史書」の物語 第5回-第7回 「六朝志怪小説」と「志人小説」 第8回-第11回 「唐伝奇小説」と「志人小説」 第12回-第13回 「明代の小説」 第14回 「清代の小説」 第15回 「嚮出へ」

授業形態(アクティブ・ラーニング)
ア：PBL(課題解決型学習) <input type="radio"/> イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート <input type="radio"/> エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション <input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 予習 予告する次回授業で取り上げる作品はどのようなものなのか、調べて確認しておく。(1時間程度) 授業内容、資料を熟読し、内容を理解しておく。(1時間30分程度) 復習 授業内容について的小レポートを作成する。(30分程度) 課題提出後のフィードバックを通して、提出した小レポートの内容を確認し、訂正加筆する。(1時間程度)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 商学部生に求められる「自業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」・経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」・人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し、いずれにも関わる中国文化、社会について理解する資質・能力を身につける。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述 主としてPPTにより、オンデマンド型授業を実施する。

実務経験の有無及び活用

備考